

春



「春がきた」「春の小川」「花・春のうらの隅田川」など、子どもの頃小学校で習ったなつかしい歌。春にちなんだ歌は、数えきれないほどあってなつかしいです。

私達80才以上の高齢者が月2回、我が家に集まって歌ったりハンドベルをならしたり、鍵盤ハーモニカ(ピアノカ)で「チューリップ」「ちょうちょ」など春の歌を吹いたり、弾いたり、歌ったりして音楽を楽しんでかれこれ30年。

「仲睦まじく」そして「60才を美しく」という事で「睦美会」と名づけてはじまった会も半数以上の人が90才を超え「継続は力なり」と、皆はりきっています。

92回目の春を迎えた私は、デイケアで週2回、運動やリハビリなどでお世話になっている施設の姉妹施設に、昨年からはピアノのボランティアとして、歌ったり、合奏したりして音を楽しんでいます。

今年は、認知症予防によいと言われている、鍵盤ハーモニカ(小学校!幼稚園!保育園!などでも使われています)をはじめました。

お世話になっている施設の先生方のおはからいで、人数分のピアノカを寄付して頂き、ありがたかったです。今は、睦美会のメンバーと共に「チューリップ」「ちょうちょ」など季節の曲を吹いて『老後の「春』』を楽しんでいます。



文： 佐藤 理慧さん(五日市地区)

表紙のことば

ご主人の章人さんは、畑仕事と奥さまやお孫さんのお世話が日課です。野菜作りには化学肥料を使わず、堆肥を使って栽培しています。章人さんの作る野菜にはたくさんファンがいて、特にシウウガとたくあん、干し柿が人気とのこと。奥さまの敏江さんとの旅行が大好きで、国内外問わず旅をしました。特にトルコは印象的で、カッパドキアに入る前の高原で見た夕日は忘れられないそうです。敏江さんは一昨年大病を患いましたが、リハビリの甲斐があつて1人で歩けるまでに回復しました。現在は週4回のリハビリに取り組んでいます。「毎年行っていた北海道旅行に行けるようになったら」と敏江さんは話します。

長男の敏人さん家族は隣に住んでおり、智恵子さんは昨年8月に3人目の詞舞月ちゃんを出産し、子育てに奮闘中です。

孫の松橙くんは、元気いっぱい毎日のように遊びに来ます。章人さんは、時々白花さんの学童や松橙くんの幼稚園にお迎えに行っています。お孫さんたちは何でも言うことを聞いてくれる優しいじいじが大好きです。

章人さんは、「来年は巳年で年男。運動がてら適度に畑仕事をしながら孫たちの成長を見守っていききたい」と話しました。



子籠さんご一家(多西地区)

後列左から▶

こどもりとしひと
(長男)子籠 敏人さん
ちえこ
(長男の妻)智恵子さん

前列左から▶

しろか としえ
(孫)白花さん (妻)敏江さん
ふみと しぶき
(ご本人)章人さん (孫)詞舞月ちゃん
しょうだい
(孫)松橙くん